

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

岡山県早島町

経常収支比率の分析

人口	12,238人	(H25.3.31現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	12,206人	(H25.3.31現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	7.61	km ²	実質公債費比率	12.7%
入総額	4,779,161	千円	将来負担比率	34.3%
出総額	4,604,009	千円	市町村類型	H20 III-2 H21 III-2 H22 III-2
実収支	97,003	千円	(年度毎)	H23 III-2 H24 III-2
標準財政規模	3,003,638	千円		
地方債現在高				

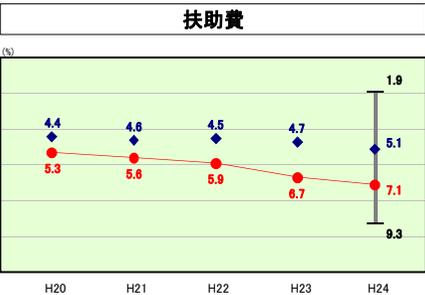


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。



類似団体内順位 43/75 全国平均 24.8 岡山県平均 23.9

人件費の分析
 今後の退職者の増大を見据え、新たに職員を採用したことによって人件費が増加している。引き続き定員適正化計画及び職員採用計画に沿って人件費の抑制に努める。



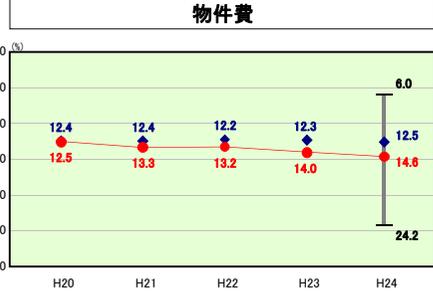
類似団体内順位 64/75 全国平均 11.2 岡山県平均 10.3

扶助費の分析
 障がい者福祉サービス、小児医療費助成制度の対象年齢拡充にともない類似団体平均を上回っている。今後も同様の傾向が続くことから財政の硬直化の進行が予想され、注意が必要である。



類似団体内順位 38/75 全国平均 18.8 岡山県平均 19.4

公債費の分析
 町民総合会館建設にかかる地方債の元利償還金の減少により着実に指標が向上しつつある。今後も新規地方債の取り扱いに十分注意しながら財政運営を行う。



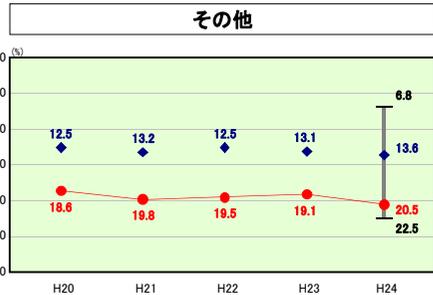
類似団体内順位 52/75 全国平均 13.3 岡山県平均 11.8

物件費の分析
 従来から経費削減を図ってきたが、コミュニティバス運営経費の一般財源化や賞金等の増加により指標が悪化した。今後さらなる事務事業の改善を図り、経費の削減に努める。



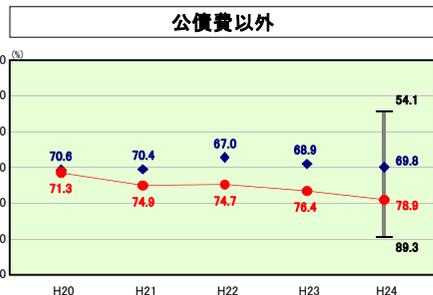
類似団体内順位 18/75 全国平均 10.1 岡山県平均 8.1

補助費等の分析
 町が出資する法人等がなく、倉敷市への廃棄物焼却や消防業務の委託費以外に高額な補助費がないことから、指標は類似団体の平均よりも低い水準で推移している。



類似団体内順位 72/75 全国平均 12.5 岡山県平均 15.0

その他の分析
 下水道事業会計への繰出金の増加により指標が悪化している。これは、下水道料金改定に伴って繰出金の一部が経常経費として取り扱われたことが要因であり、平成25年度以降、指標が改善されると見込みである。ただし、特別会計への繰出金全体が増加傾向にあることから、繰出基準に基づく適正な繰出しに心がけ健全な財政運営に努める。



類似団体内順位 65/75 全国平均 71.9 岡山県平均 69.1

公債費以外の分析
 公債費以外では、ほとんどの費目が増加傾向にある。特に繰出金、扶助費は今後も増加が見込まれることから財政硬直化の進行を少しでも和らげるよう工夫を凝らした財政運営に努める。